



高輪だより

平成29年1月号

港区立高輪幼稚園
園長 新山 裕之

＜入学に向けて生活を整える＞

新年あけましておめでとうございます。

今年度も、残すところ3か月となりました。年長組の子どもたちは、もうすぐ小学生となります。朝の起床時間は今よりも3～40分は早くなります。登校する1時間前には起きて、食事と排便を済ませて家を出られるように計算して、今から少しずつ慣らしていきましょう。「早寝早起き朝ごはん」は、学習効率に直結していることですし、夜更かしは厳禁です。

そして、これからの登降園は、親子で歩きながら、一人で歩く際の注意事項や心構えを教えてあげる期間にしてください。

＜主体的な構えを育てる指導＞

箱根駅伝は、今年も青山学院大学が優勝しました。その原監督に共感できるところは、今の走りの実力だけでなく、社会人として恥ずかしくない人づくりを心掛けているところです。

また、主体的に物事に向かう構えを大事にしている点は、幼稚園がずっと大事にしている本質に通じる点があります。監督の組んだメニューにただ従うだけの練習では、主体的な姿勢は育たず、いざというときに自分で考え、力を発揮することはできないでしょう。青学の場合は、楽しいからやってみようという雰囲気や勢いを大事にし、それが結果に結び付いている点も、幼稚園教育と共通していることがたくさんあると思っています。

＜日々の遊びや生活の中でこそ＞

幼稚園教育は、遊んでいるだけと言われがちですが、幼児が自ら働き掛けて遊びが生まれ、その中で教育的な学びが得られるように、教師の意図を環境に埋め込んで指導しています。そして、その遊びの中で育てていることは、今こそ育てたいことであり、20年先の姿を見通した内容でもあります。笑顔で挨拶したり、相手の目を見て話を聞いたりすることは、遊びや生活の中でこそ、じわじわと身に付いていくことなのです。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

高輪の 二十四節気

・・・睦月(むつき)・・・

小寒(5日) … 青く澄んだ空に冷たい風が吹きます …

大寒(20日) … 厳しい寒さに氷や霜柱が見られる日も …

東京の冬は乾いた晴天が続くことが多く、冷たい風も吹きます。それでも、市内ではなかなか氷点下になることはありません。氷や霜柱、雪などはタイミングを逃しては見ることができない自然現象です。幼稚園でも家庭でも、冬の時期ならではの自然とのかかわりを大切に、寒さに負けず戸外遊びも進めていきたいと思ひます。



酉年、今年もどうぞよろしくお願いいたします



年長児が年末に絵本の絵を見ながら描いた干支の絵です



高輪ガーデンでは大根などが生長しています
キャベツ、ブロッコリー、小松菜なども…



昨年は、こんな分厚い氷が張りました
今年はどうでしょうか？